

(2015年港区議会第2回定例会レポート)

# 戦争法案の廃案を もとめる請願

18対15  
自民・公明が否決

第2回定例会に「戦争法案の廃案を求める請願」が4件提出され、総務常任委員会で審議されました。

請願代表者から請願の主旨説明が行われ、安倍内閣が狙う集団的自衛権の行使は、憲法9条に違反しており、認められることや、歴代自民党政権も一貫して現憲法下では認められないことなどを説明しました。

総務委員会の審議では、自民党の委員は、過去に日本が行った



超党派の区議会議員で共同宣伝



戦争について「日本国家がかつて起こした戦争で、悪かったことは何一つない」との歴史を歪曲する発言も飛び出しました。

請願への態度表明で、共産党委員は、「請願を採択して国へ意見書を出すべき」と主張。自民党委員は「請願は否決すべき」と主張。公明党と民主党、維新の党、無所属の委員は、「請願の継続審議」を主張しました。

採決の結果、自民党と公明党が不採択。共産党、民主党、維新の党、無所属が採択となり賛否同数でした。委員長が不採択を判断し、請願は不採択になってしまいました。

その後の本会議での採決では、自民12、公明6が不採択。共産、民主、維新、社民、街づくりミナトの合計15人が採択に投じました。結果は18対15で不採択となりました。

## 質問 区長 みなとパーク芝浦の駐車料金の無料化を利用状況等の検証を進め駐車場運営の改善を検討

日本共産党は、みなとパーク芝浦の駐車場料金の無料化を、ずっと要求してきました。最初は昨年10月7日の決算特別委員会。その後、まちづくり子育て等対策特別委員会でも、さらに今年の予算特別委員会でも重ねて質問してきました。

利用者からも数多くの改善を求める声が寄せられています。「駐車場代が高過ぎてスポーツができる値段とつり合いません。最低でも3時間の練習が必要です。練習時間分の駐車代をフリーにしてください（女性）」などです。

利用者の声を真正面に受け止め、みなとパーク芝浦の地下駐車場利用料金を無料にすべきと質問しました。

以前の区長の答弁は、「利用状況の検証をすすめる」というものでしたが、今回は、「施設開設から半年が経過いたしました。区は、利用者の方々から割引措置の拡大等のご要望をいただいていることも踏まえ、利用状況等の検証を進め、駐車場運営の改善を検討してまいります」と一步踏み込んだものとなりました。

無料化の早期実現へ、引き続き奮闘します。

教育委員会は、箱根山の噴火情報を収集した結果、六月実施予定の小学校の移動教室の中止を決定しました。児童の安全を願う保護者の心配や不安を考えれば、やむを得ない措置である



小学五年生の中で、ずっと待ちに待つたのに行けなくなってしまったすっかり落ち込んでいる児童もいます。保護者からは、「あんなに楽しかったのに、かわいそうだ」との声も寄せられています。

そこで、移動教室・夏季学園の時期や場所を変更し実施できなかと質問しました。

教育長は、小学校の受入実績がある公的施設を中心に、箱根ニコニコ高原学園に代わる実施場所を検討し、今年度の移動教室は、葛飾区が運営する、栃木県・日光林間学園で、

一月から三月までの期間に実施。

夏季学園

葛飾区が運営する、栃木県・日光林間学園で、

# 大問題のマイナンバー制度スタート

日本共産党だけが反対

マイナンバー制度導入の条例が議会に提出され、日本共産党以外の賛成で可決されました。この制度は、国民全員に十二桁の番号をつけて個人情報を国が一元的に収集利用し、年金、医療、児童手当、生活保護の手続き、確定申告や税務関係資料などの情報が国によつて一括管理されるのです。さらに政府は、制度が始まつていないので、預貯金口座もマイナンバー制度に加えようと狙つています。

政府はいろいろな手続きでの国民の利便性が良くなると説明していますが、戸籍謄本や住民票などはそう頻繁に使いません。その反面、制度をはじめる国の費用は、二七〇〇億円もあります。港区でも今年

度だけで一〇億三千万円もかかります。

また、年金機構の情報漏えい問題で明らかなように、個人情報の流出が心配されます。日本共産党は、国会でも4つの問題点を指摘しています。

①百分比情報漏えいを防ぐ完全なシステムの構築は不可能。②意図的に情報を盗み売る人がいる。③一度漏れた情報は流通・売買され取り返しがつかない。④情報は集積されるほど利用価値が高まり攻撃されやすくなる。

共産党議員団は、こうした問題点を指摘し、条例はもつと時間をかけて審議するべきと、継続審議を求めました。しかし採決の結果、共産党議員団が反対、他の議員は全員が賛成し可決されました。

## 労働時間の規制強化を求める請願が不採択

労働法制の改悪に反対する港区連絡会が呼びかけた、「時間外労働の上限規制と安定雇用の確立を求める請願」が、37団体と300人近い賛同を得て提出されました。ナショナルセンターを越え、これまでにない共同の広がりがありました。しかし、自民党、公明党は区民の切実な願いを無視して、明確な理由も示さず否決を主張しました。また国会では労働法制改悪に反対している政党を含む「みなど政策会議」は、国会での審議中を理由に継続を主張しましたが採決では否決の態度を取り、自民・公明とともに請願を不採択としました。請願の採択を求めたのは共産党のみでした。

## 2015年第2回定例会

- 高すぎる国民健康保険料の引き下げを
- 介護保険料の引き下げを
- 東日本大震災の「集中復興期間」の延長を求める要望書提出を
- 区の入札制度の改善について
- 賞味期限が迫る備蓄品の有効活用について
- 「ちいばす」の運行改善を
- 感震ブレーカー設置助成を
- 国有地、都有地の活用について
- 大阪都構想について
- 区立図書館の開館時間の延長について
- 区立図書館の指定管理者制度導入について

## 本会議での質問項目

- 投票所の増設について
- 防災無線の難聴地域の解消を
- 特別養護老人ホームの前倒し建設を
- 高齢者の住まいの確保について
- 待機児解消は公立認可保育園で
- 緊急暫定保育施設を区立保育園に
- AED（自動対外式除細動器）の設置について
- 学校図書館への司書配置について

## 障害者に安全な道へ

### 田町駅西口を調査し、都・区へ要望書

東京視覚障害者協会（東視協）は、JR田町駅西口（三田口）から都障害者福祉社会館への安全な道の整備を都と港区に求めて、現地調査をおこないました。日本共産党区議も同行しました。

参加した東視協メンバーは、都や区の担当者に要望書を手渡し、駅エスカレーターの音声案内が聞こえにくことや、歩道の点字ブロックが途切れてるなど危険な箇所を指摘。「点字ブロックは安全に歩行するための唯一の頼り。命にかかる」と改善を求めました。

担当者は、危険性を認め、前向きに検討する意向を示しました。

東視協は、周辺道路を管理する東京都第一建設事務所にも「安全・安心なアクセスを求める要望書」を提出し、道路舗装の改修を求めています。



## 港区長に二つの申し入れ 党区議団

法案は、まさに、戦争を禁止し、平和外交に徹する日本国憲法や、港区平和都市宣言の立場に逆行するものであり、平和を求める区民の願いを踏みにじるものです。港区長が安倍総理大臣に、「安全保障法制の関連法案」撤回を求める強要を希望します。

港区は、平和憲法を活かし守りぬく立場から、1985年8月15日に「港区平和都市宣言」を制定しました。法案は、まさに、戦争を禁止し、若者を戦場に送り込むものです。

私たち、港区が、日本政府及び米国政府・米軍に対して、横田基地へのCV22オスプレイの配備撤回を断固とした姿勢で求めるよう、強く要請します。

港区には23区で唯一の米軍ヘリポート基地があります。横田基地の問題は決して他人事ではありません。

## 総務委員会を傍聴して

「戦争法案に反対の意見書提出を求める請願」

審議を傍聴しました。およそ40人の人がつめかけました。

質問をする自民党議員は、自分の主義主張にこだわっていて、「他国に攻められたらどうする」という集団的自衛権と違う問題に固執していました。共産党の議員は、請願者に対して、政府が国会で説明している中身がデタラメなことなどを引き出して、戦争法案の危険性を明らかにする質問をしました。

他の党の議員は、態度も意思表示もあいまいで、継続審議を求めていました。国会で重要な局面なのに、「継続とは何だ!」と少々腹がたちました。最終的には、請願は否決されました。

「戦争法案」は違憲であり、かつ悲惨な戦争を引き起こす突破口となるものなのに、「こんなことでいいのか」と強く印象に残りました。

新日本婦人の会 港支部 加藤恵子

憲法破壊の戦争法案の撤回を求める

横田基地へのCV22オスプレイの配備撤回を求める

米国政府は、空軍の垂直離着陸輸送機CV22オスプレイを、2017年以降、横田基地に新たに配備すると日本政府に通報しました。オスプレイは、開発段階から現在にいたるまで、墜落事故をはじめとした事故が相次いでいます。

危険なオスプレイの配備は到底認められません。特殊訓練に使われるオスプレイの配備は、降下訓練や低空飛行、夜間訓練など危険度の高い訓練・飛行を首都圏をはじめ、全国に広げることになります。

私たち、港区が、日本政府及び米国政府・米軍に対して、横田基地へのCV22オスプレイの配備撤回を断固とした姿勢で求めるよう、強く要請します。